

タイムテーブル

12:30
13:00
14:00
15:00
16:00
16:30



観覧
13:00-14:30



体験 ※要体験チケット
※定員30人・事前予約(先着順)
14:50-16:30



楽器体験／展示
12:30-16:30



フォトスポット
12:30-17:00

チケット

入場チケット 一般 1,500円 大学生以下 500円 友の会 1,000円 (全席指定 3歳以下膝上無料)

体験チケット おひとり 500円 (見学は無料) ※体験に参加するには入場チケットも必要です。ご購入の際にはご注意ください。
※定員 30 人・事前予約 (先着順)

SaCLa 友の会先行販売

発売日 12月00日 金10:00～

12月15日(日)以降は窓口でも受付ます。

SaCLaインフォメーションセンター販売ページ

<https://p-ticket.jp/saitama-culture>

一般販売

WEBでのお申し込み

発売日 12月00日 土10:00～

<https://p-ticket.jp/saitama-culture>



窓口でのお申し込み

発売日 12月00日 日10:00～

※お電話番号のおかけ間違いのないよう十分にご注意ください。
※窓口ごとに営業日・時間が異なるので事前にご確認ください。
※WEBで完売の場合もありますのであらかじめご了承ください。

さいたま市文化センター048-866-3171	東大宮コミュニティセンター048-667-5604
RaiBoC Hall(さいたま市民会館おおみや) 048-641-6131	西部文化センター048-625-3851
さいたま市民会館いわつき048-756-5151	宮原コミュニティセンター048-653-8558
プラザイースト.....048-875-9933	片柳コミュニティセンター048-686-8666
プラザウエスト048-858-9080	美園コミュニティセンター048-764-8810

※窓口でのチケット引き取りは12月00日(日)より

公演・予約に関するお問合せ SaCLaインフォメーションセンター 048-866-4600

会場

さいたま市文化センター

〒330-0024 さいたま市南区根岸1-7-1

TEL.048-866-3171 FAX.048-837-2572

※電話・FAX番号のおかけ間違いのないよう十分ご注意ください。

駐車場について

137台(有料)1時間以内は無料。1時間経過後、最初の30分は220円。以後30分(30分に満たないときは30分とします)ごとに100円を加算します。(消費税別。ただし10円未満は切り捨て)

※駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。



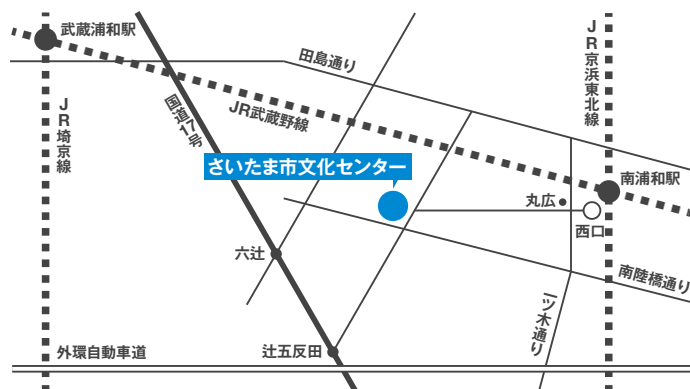
X



Facebook



LINE



電車でお越しの方 JR南浦和駅西口から徒歩7分

主催：公益財団法人さいたま市文化振興事業団 共催：さいたま市 後援：さいたま市教育委員会

制作：古典空間 イラストレーション：おかめ家ゆうこ デザイン：深澤琢磨

伝統芸能の宝箱

にっぽんの踊りに大注目!



さいたま市文化センター「小ホール」が伝統芸能の宝箱に。今回は「にっぽんの踊り」日本舞踊に大注目! 知っているようで知らない日本の伝統芸能の「なるほど」第一線で活躍する舞踊家の皆さんが、楽しくわかりやすく紹介します。毎年好評の楽器展示・体験コーナーも開催。見て! 触れて! やってみて! 伝統芸能がぐっと身近に感じられる一日です。

令和8年

3月14日土

開場 12:00

開演 13:00

さいたま市文化センター 小ホール

主催：公益財団法人さいたま市文化振興事業団

共催：さいたま市

後援：さいたま市教育委員会

さいたま市文化センター〈小ホール〉が伝統芸能の宝箱に！ 知っているようで知らない 日本の踊りの“なるほど！”



紹介します!“にっぽんの踊り”

音楽とカラダが一体となって見せる、きれいな姿、カッコいい形、流れるような動き……ふだんのしぐさをより美しく見せる踊りが《日本舞踊》。江戸時代からたくさんの人が、観るだけではなく、おけいことしても楽しんできた歴史ある芸能です。

「紹介します!“にっぽんの踊り”」では、日本舞踊がいつ生まれ、歌舞伎とどう関わってきたのかを、映像や実際の動きをまじえてわかりやすく紹介します。お扇子のふしぎな使い方や、動きのおもしろさなど、日本舞踊の「なるほど!」をお伝えします。

解説 弧の会メンバー／弧の会ジュニア

演 「七福神」市山 幸・西川樹恵花・藤間咲佳

同じ曲でも流派によってふりつけが少しずつちがいます。今回は長唄でもっとも古いと言われる「七福神」で、3つの流派の踊りを見くらべてみよう。



日本舞踊を楽しもう！

伝統のわざと力強い動きをいかした実際の舞台をお届けします。体の向きや歩き方だけで気持ちを表す、日本舞踊ならではの表現が目の前でたっぷり味わえます。



若獅子

『若獅子』は、太鼓や笛の音に合わせて、獅子のように力強くおどります。特別な衣装を身につけない「素踊り」ですが、大きく跳ねたり、勇ましく動いたりして、見ているだけでワクワクするおどりで。

演 弧の会ジュニア
市山扇雄右／猿若瑛貴／西川一樹
西川央樹／西川光樹／若柳元秀

雨の五郎



演 猿若清三郎

大雨の中を兄のところへ向かう五郎の姿をえがいたおどりで。雨にぬれた着物をなおす動きや、ゆっくり歩く所作（しぐさ）で、本当に雨がふっているように見えてきます。強い気持ちと少しの不安がまじった五郎の心が、ことばを使わず伝わってくるのが見どころです。



やってみよう!日本舞踊

鑑賞のあとは、さっそく体験してみよう!日本舞踊で身に付けるキレイでカッコいい身体の見せ方と使い方!踊れると楽しい!

14:50-16:30の内、40分間／1回×2回（親子体験／一般体験）
別売り体験チケット500円（事前申し込み制）

指導 弧の会メンバー／弧の会ジュニア



体感!日本舞踊

蛇の目傘や扇子などの小道具を持ってハイ、ポーズ! カッコよくキメて写真を撮ろう!



さあ、やってみよう! 楽器体験コーナー

日本の踊りを支えてきた三味線が奏でる音楽を代表して、今回は長唄の三味線を弾いてみよう。



身近に見てみよう! にっぽんの楽器

音楽の教科書にも出てくる楽器から、めったに見られない珍しい楽器まで……。にっぽんの楽器大集合!



出演 弧の会

日本舞踊界の一線で活躍する舞踊家が集い、20年以上に渡り、普及と新たな創造活動を展開してきた舞踊家集団〈弧の会〉より4名のメンバーと、弧の会がプロの舞踊家を目指す若手を育成するプロジェクト〈弧の会ジュニア〉のメンバー9名が、日本舞踊の上演、体験指導など、日本舞踊の楽しさをお伝えするかずかずのプログラムを担当します。



日本舞踊家集団 弧の会

日本舞踊の普及と新たな創造の可能性に挑む、第一線で活躍中の男性舞踊家たちが流派を超えて結集したユニットです。1998年に結成。紋付・袴のみの「素踊り」を基本コンセプトに、わかり易く迫力に満ちた新作舞踊を次々と発表。中でも2000年度初演『御柱祭（おんぼしら）』は、日本舞踊の新作としては異例の100回に迫る再演を全国各地で重ね大反響を呼んでいます。また若い世代に向けたレクチャー&デモンストレーション、ワークショップなどを精力的に展開中。そのクオリティは各方面より高い評価を得、伝統芸能の世界で熱い注目を浴び続ける日本舞踊家集団です。2000年度 舞踊批評家協会新人賞、2008 年度 文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞。



市山松扇
いちやましゅうせん

市山流・七世家元。幼少より父（市山流宗家・市山松翁）に師事し、2才7ヶ月で初舞台を踏みました。その後は国内外の舞台活動をはじめ、日本舞踊の創作・普及活動などにも熱心に取り組んでいます。2004年、父・市山松翁より市山流七世家元を受け継ぎ、「市山松扇」の名を襲名しました。芸術選奨文部科学大臣新人賞、日本芸能実演家団体協議会奨励賞、（公社）日本舞踊協会会長賞、花柳壽應賞新人賞など数多くの賞を受賞しています。弧の会代表。公益社団法人 日本舞踊協会理事。品川区舞踊連盟会長。2023年7月に国の重要無形文化財に指定された「日本舞踊」の総合認定保持者の一人でもあります。



猿若清三郎
さるわか せいざぶろう

猿若流・九世家元。幼少より父・猿若清三郎（八世家元）、祖父・猿若清方（流祖）に師事しました。6才で初舞台を踏み、それ以降は舞踊家として全国各地で舞踊公演に出演しています。またTV・映画等にも数多く出演し、NHK 大河ドラマ・テレビ・演劇の振付・所作指導でも活躍しています。芸術選奨文部科学大臣新人賞、文化庁芸術祭賞優秀賞、日本芸能実演家団体協議会奨励賞、（公社）日本舞踊協会会長賞、花柳壽應賞新人賞など数多くの賞を受賞しています。「猿若会」という舞踊会を主宰。（公社）日本舞踊協会東京支部中央ブロック副ブロック長、女子美術大学非常勤講師なども務めています。



西川大樹
にしかわ だいき

4才より父・西川喜之輔に師事し、1992年 正派西川流家元・西川喜州より「西川大樹」を名乗ることを許され、後に師範の免許を得ました。父と共に「喜風会」という舞踊会を主宰。（公社）日本舞踊協会主催「創作舞踊劇場」等、数々の舞台に積極的に出演するほか、振付などにも力を発揮しています。また「キッズ伝統芸能体験」（東京都、アーツカウンシル東京、芸団協主催）ほか数多くの体験指導・ワークショップ講師を務めるなど、次世代の育成と普及に尽力し、その指導方法は高く評価されています。文部科学大臣奨励賞、日本芸能実演家団体協議会奨励賞などの賞を受賞しています。



花柳寿美藏
はなやぎ すみぞう

幼少期より母・花柳維寿美より日本舞踊の手ほどきを受けました。1999年には名取免許を許され、亡父・花柳寿美藏の名を継ぎました。その後は三世宗家家元花柳壽輔に師事して花柳舞踊道場で研鑽を積みました。2004年には師範資格を与えられ、その後、四代目花柳壽輔（二代目花柳壽應）に師事しています。文化庁主催の 学校巡回公演に（公社）日本舞踊協会より参加するほか、数々のワークショップ講師などを務め、日本舞踊の普及に努めています。（公社）日本舞踊協会主催「各流派新春舞踊大会」最優秀賞を受賞。品川区舞踊連盟委員、中央区古典芸能の会会員、（公社）日本舞踊協会東京支部城南ブロック書記などを務めています。

弧の会ジュニア



市山扇雄右 猿若瑛貴 西川一樹
西川央樹 西川光樹 若柳元秀
市山幸 西川樹恵花 藤間咲佳